

静岡県健康福祉部 大石理事提出資料

静岡県と市町の輝く 未来のために



ふ じ の く に

少子化突破戦略事業成果報告

市町別の地域分析から見えてきた出生率への影響要因

平成28年2月26日

静岡県

I 事業実施の背景・目的

背景

- 静岡県は、東西に長く、地域によって産業構造や立地条件に違いがある
- 市町別合計特殊出生率は、同じ地域内で高い市町と低い市町が混在しており、ばらつきが見られる

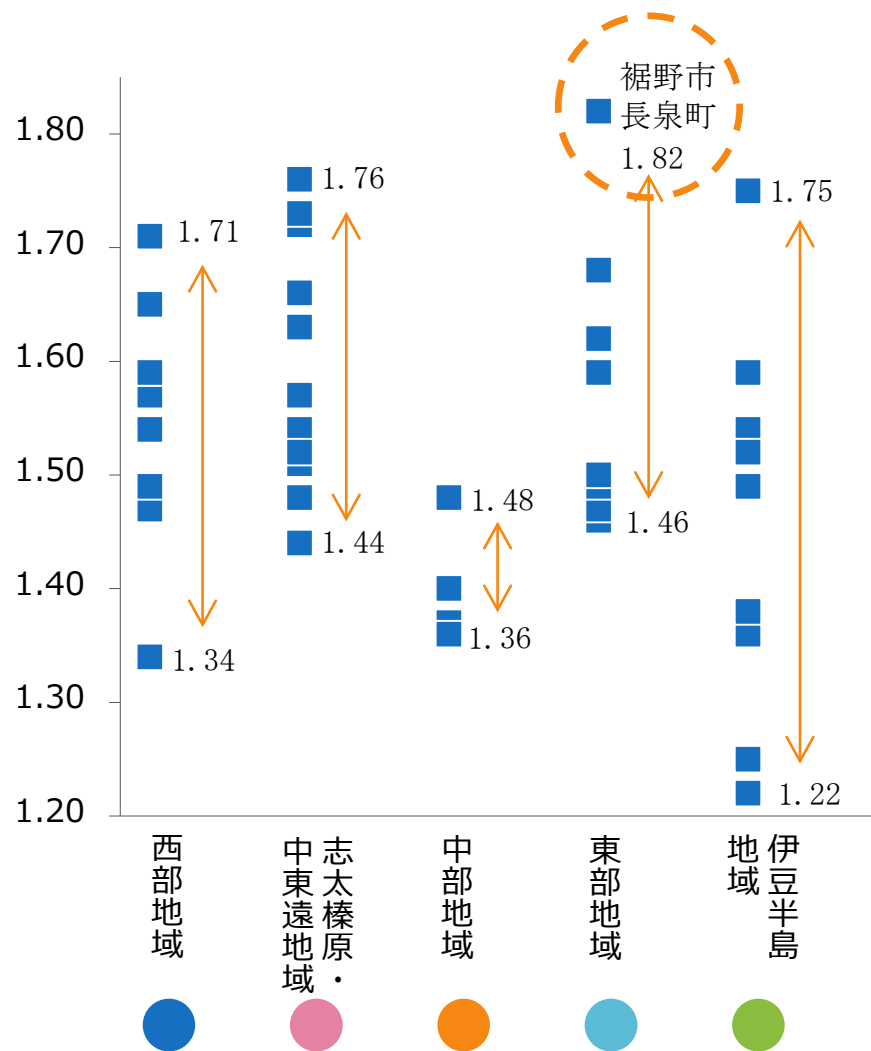
目的

県が市町の協力を得て
出生率への影響要因を把握・分析

分析結果の「見える化」

独自の取組の加速化

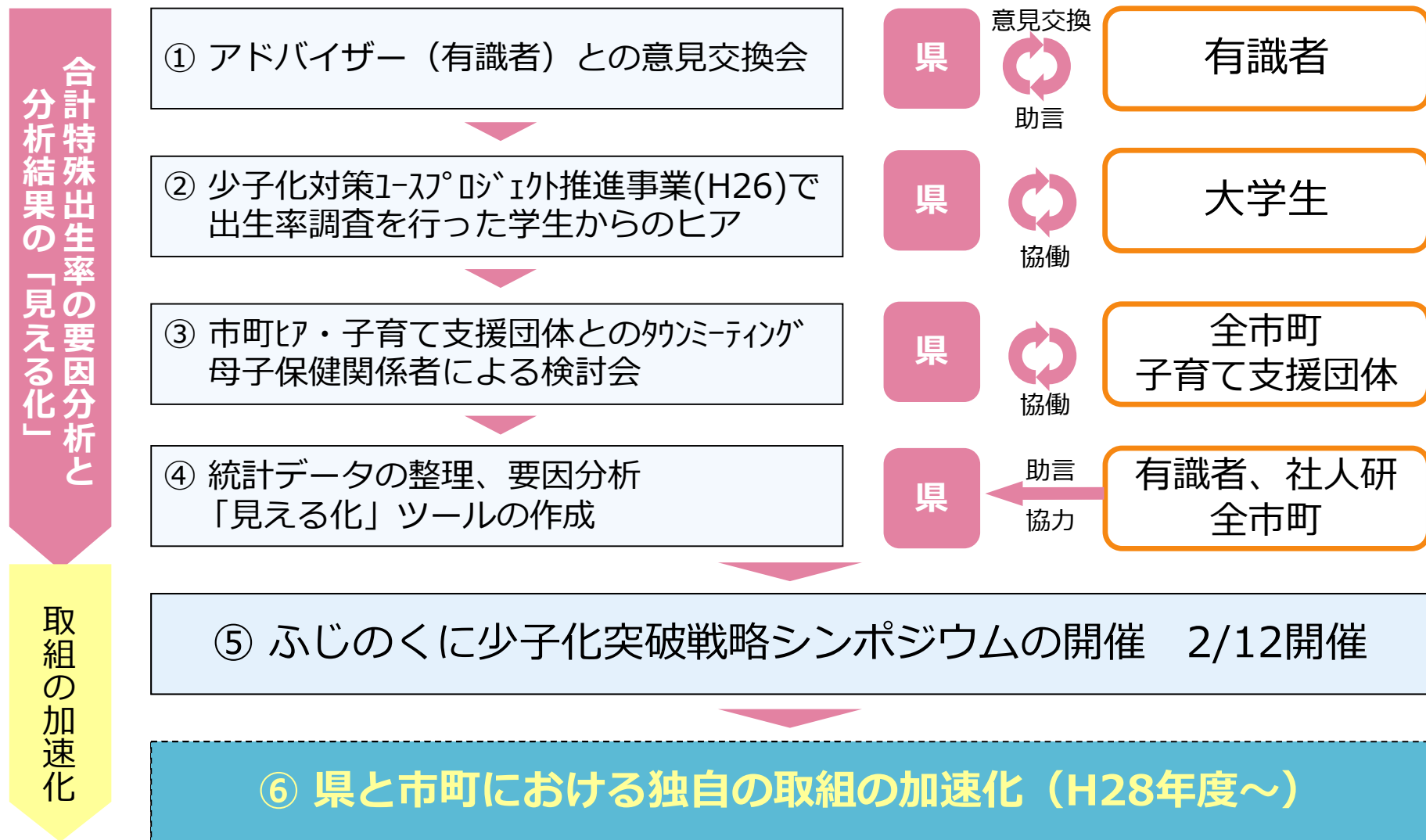
◆市区町別合計特殊出生率の分布（H20-24）



(資料) 厚生労働省「平成20年～平成24年人口動態保健所・市区町村別統計」
(注釈) 地域区分は「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略」の地域圏。

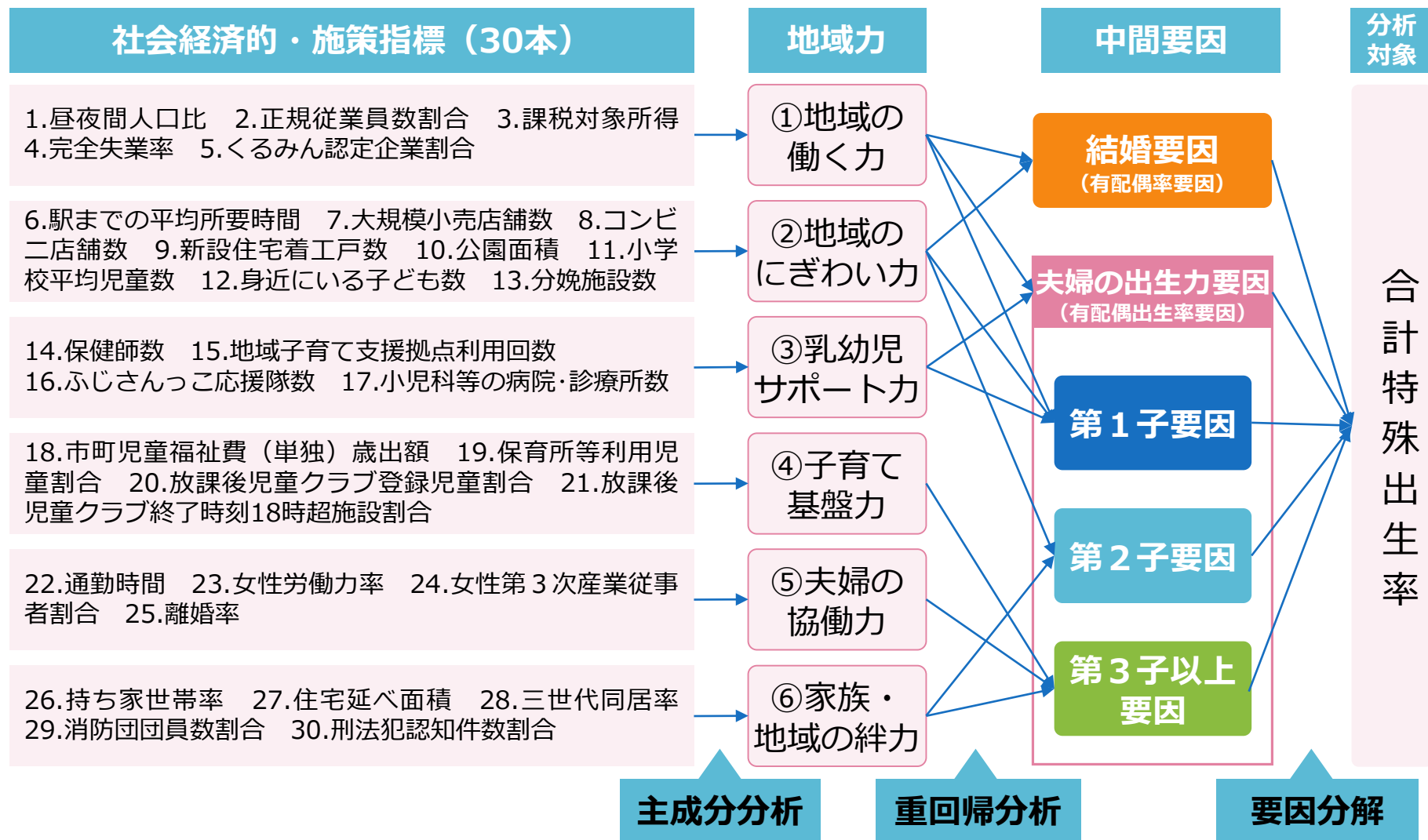
Ⅱ 事業スキーム

市町との協力、有識者・大学生・子育て支援団体等の意見を取り入れて実施



Ⅲ 分析の全体像

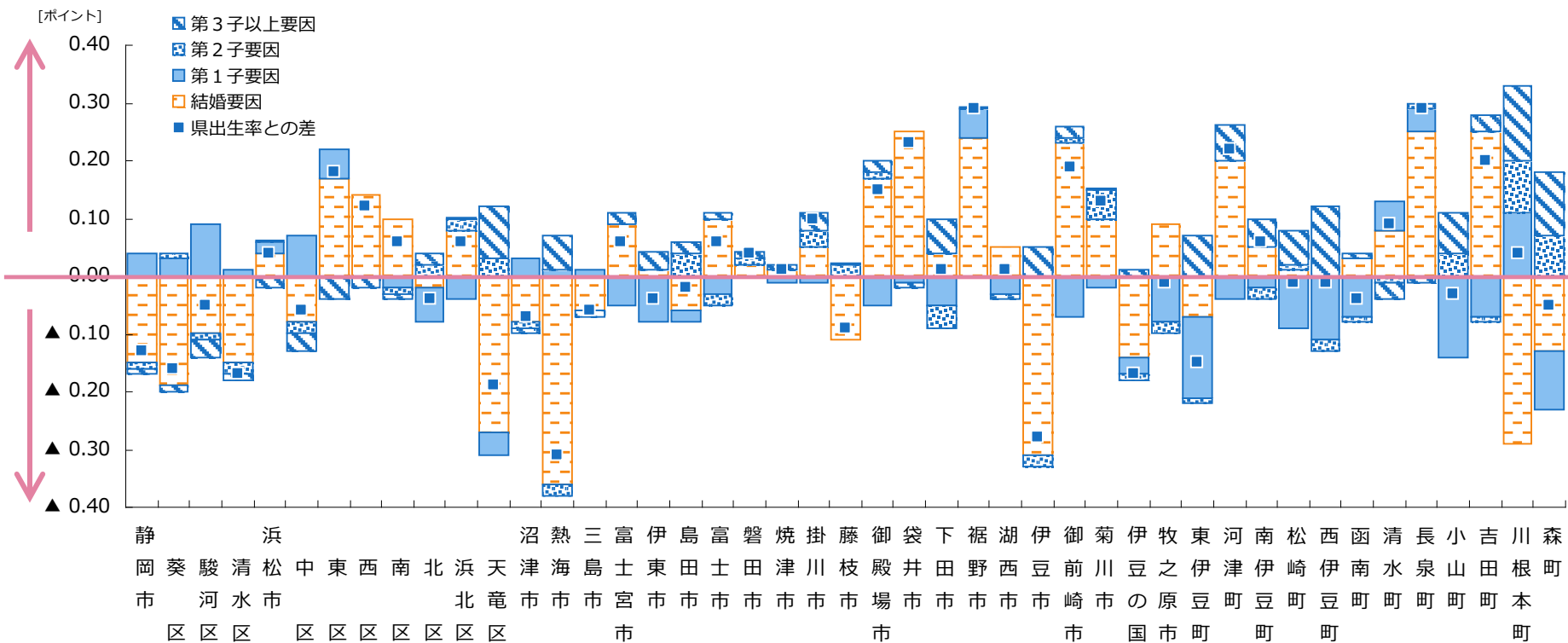
30本の指標を3段階で分析し、合計特殊出生率との関係性を探り出す



IV 出生率が高い（低い）要因【中間要因】 （要因分解の結果）

(要因分解の結果)

要因が市町ごとに判明：「結婚要因の影響が大きい」



【グラフの見方】

- ・グラフの0.0は県出生率の水準
- ・上方はその分だけ出生率を押し上げている要因
- ・下方はその分だけ出生率を押し下げている要因

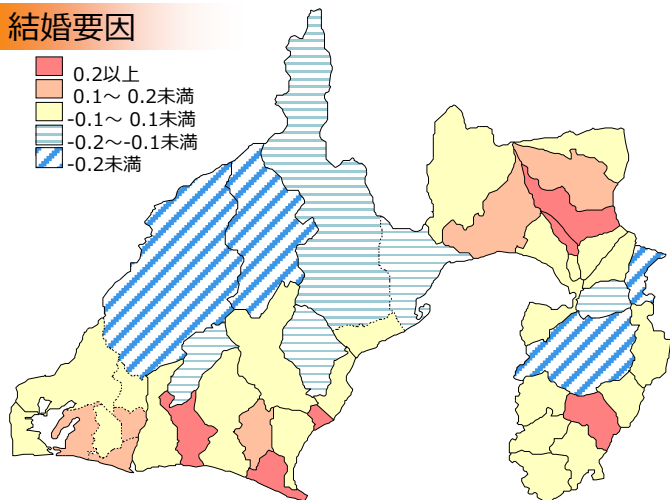
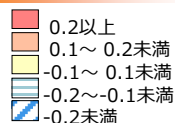
グラフから読み取れること

- 結婚要因の占める割合が多く、**出生率の地域差の多くが、結婚要因による影響。**
- 出生率が低い市町であっても、**第1子～第3子以上要因が低いとは限らない。**

V 出生率が高い（低い）要因【中間要因】地理的分布

結婚要因～第3子以上要因の地理的分布は、全く異なる傾向を示している

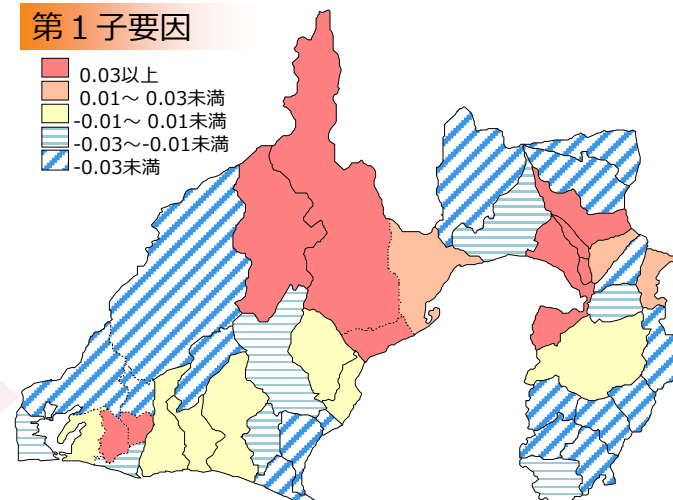
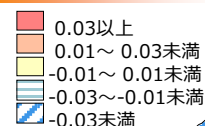
結婚要因



■結婚要因

広域的な傾向は見られず、市町によってばらつきがある。

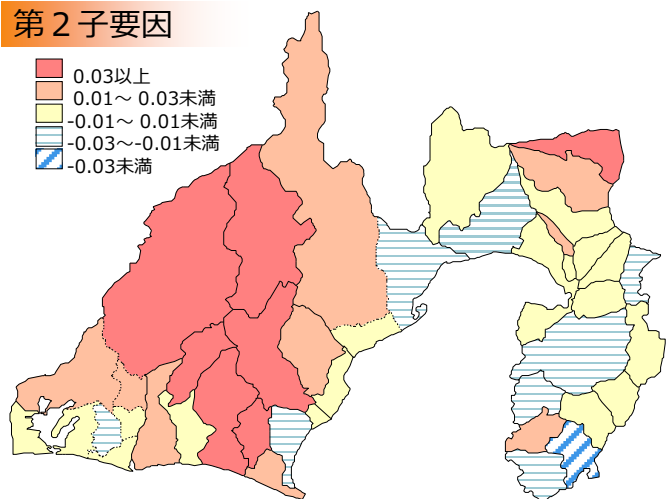
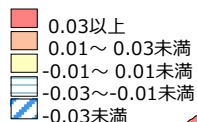
第1子要因



■第1子要因

都市部で高く、山間部と伊豆半島地域で低い。

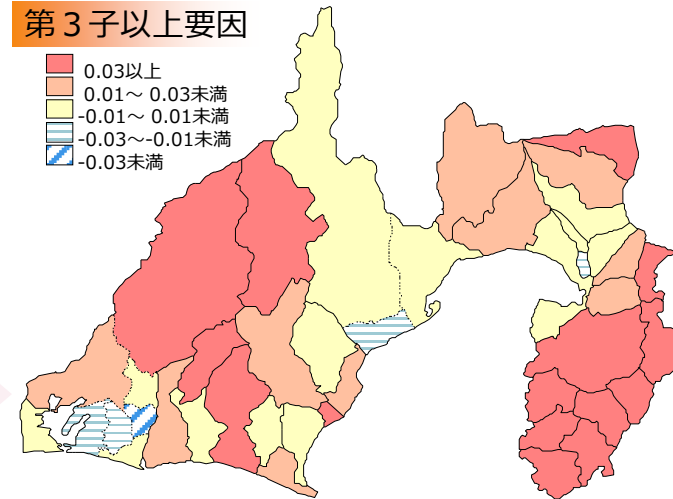
第2子要因



■第2子要因

静岡市以西で高く、静岡市以东で低い。

第3子以上要因



■第3子以上要因

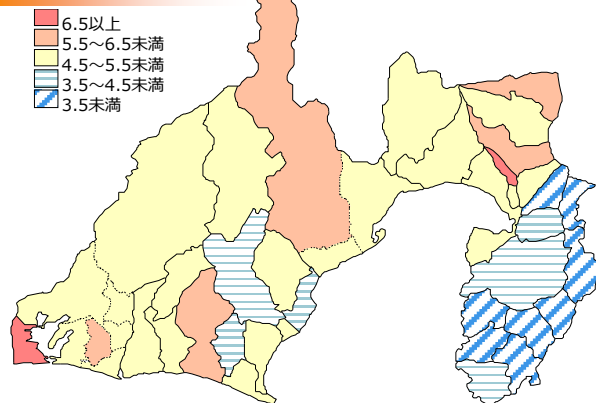
山間部と伊豆半島地域で高く、都市部で低い。

VI 地域力の地理的分布（主成分分析の結果）

「①地域の働く力・②地域のにぎわい力」と

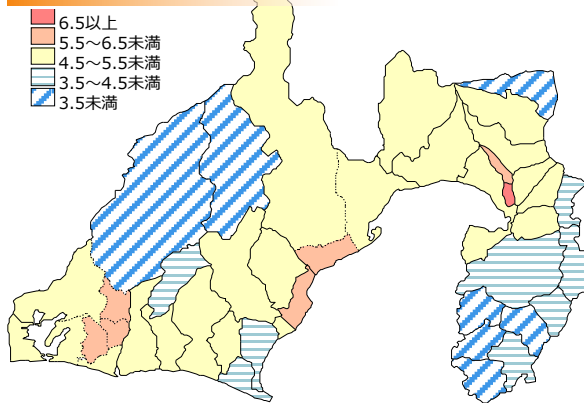
「③乳幼児サポート力・⑤夫婦の協働力・⑥家族・地域の絆力」の分布は逆の傾向

①地域の働く力



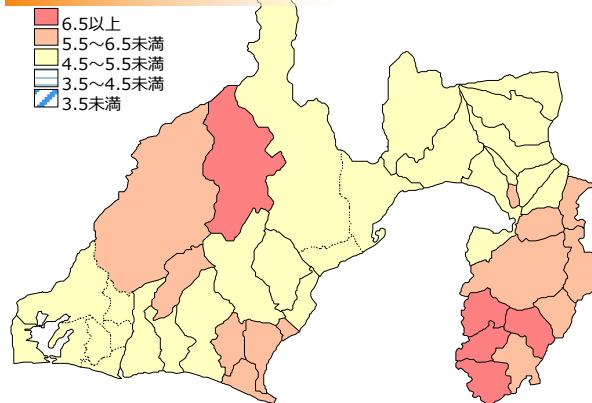
■ 東海道沿線の都市部で高い

②地域のにぎわい力



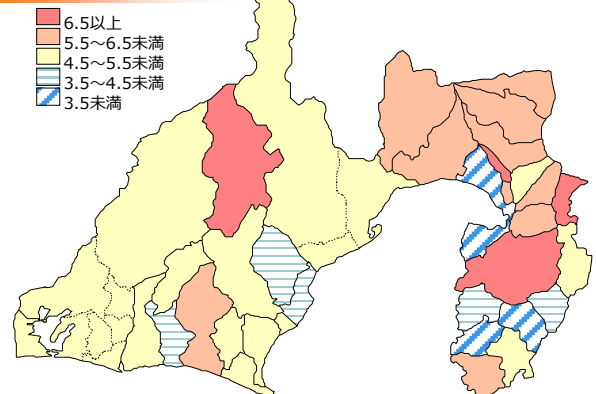
■ 東海道沿線の都市部で高い

③乳幼児サポート力



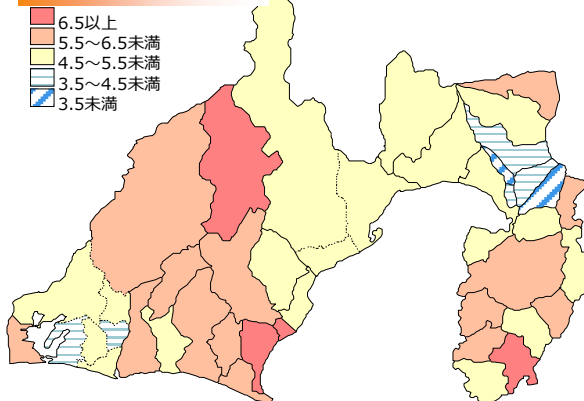
■ 伊豆半島・山間部・御前崎周辺で高い

④子育て基盤力



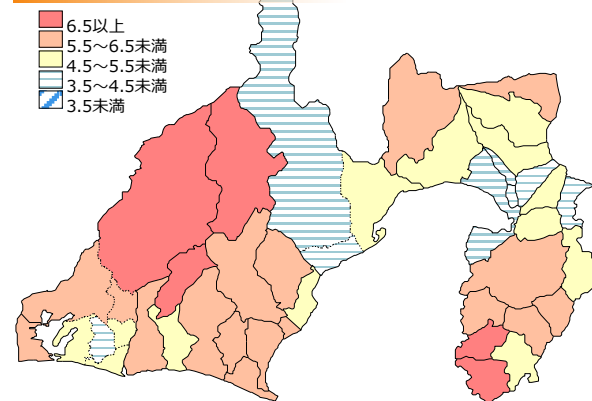
■ 東部・伊豆半島地域で高低差がある

⑤夫婦の協働力



■ 伊豆半島・山間部・御前崎周辺で高い

⑥家族・地域の絆力



■ 伊豆半島・山間部で高い

VII 中間要因（結婚要因～第3子以上要因）と地域力との関係性

結婚～第1子は雇用関係や地域の魅力、第3子以上は家族や地域の関係性が影響

◆分析結果（重回帰分析）

	結婚要因	夫婦の出生力要因	第1子要因	第2子要因	第3子以上要因
①地域の働く力	○	○	○		
②地域のにぎわい力	○		○	○	
③乳幼児サポート力		○	○		
④子育て基盤力					○
⑤夫婦の協働力					○
⑥家族・地域の絆力				○	○

分析結果から見てきたこと

- 結婚要因
- 夫婦の出生力要因
- 第1子要因

雇用環境、地域の魅力、乳幼児サポートの状況が影響している

- 第2子要因
- 第3子以上要因

子育て基盤、夫婦・家族・地域の関係性が影響している。

全35市町の分析チャートを作成！ わかりやすく市町別の要因を記載

合計特殊出生率「2」の達成に向けた基礎分析書

静岡県ホームページでPDF版を公開しています！

静岡県 少子化突破

檢 索

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-130/toppa.html>

静岡県と市町の輝く未来のために

ふ じ の く に

少子化突破戦略の

羅針盤

..... コンパス

合計特殊出生率「2」の達成に向けた基礎分析書

平成28年2月
静岡県

市町別 分析チャートの見方

■ 市町の基礎データ

平成20～24年（最新）の合計特殊出生率、出生率1.53との差、県内19市順位を記載している。

（資料）厚生労働省「平成20年～24年人口動態統計年報」

■ 出生率の変化がわかる

昭和58年～62年の合計特殊出生率をグラフ化している。また、相対的な変化を示すため、市町順位を記載している。

■ 出生率が高い(低い)要因がわかる!

構グループが上方に伸びている場合は、市町の出生率をその数値の分だけ押し上げている要因であることを示している。

逆に、下方に伸びている場合は、出生率をその数値の分だけ押し下げている要因であることを示している。各要因を合計すると県出生

結婚している人の割合が出生率に与える影響の大きさ

■夫婦の出生力要因

結婚している人のうち子どもを生んだ人の割合が出生

字に与える影響の大きさ

階層 1 字要因
結婚している人のうち第 1 字を生んだ人の割合が出生
字に与える影響の大きさ

階層 2 字要因
結婚している人のうち第 2 字を生んだ人の割合が出生
字に与える影響の大きさ

階層 3 以上要因
結婚している人のうち第 3 字以上を生んだ人の割合が
出生字に与える影響の大きさ

[illegible]

■ 地域特性がわかる

出生率に影響を与えていると考えられる30の国を①～⑩の順に集約し、レーダーチャートで示している。黒平均を5とし、①～⑩の数値で表している。5以上は強みであり、5以下は課題であると考えられる。

■ 市町の総合力を「★」で表示

「3 出生率に影響している市町の総合力」①～④の数値で★の数
 数を決す
 ★★★★★ 8.0～10.0 ★★★★★ 6.0～7.9

■ 他自治体にも参考になる施策を紹介

出生率向上のために、他の
治体にも参考になる先駆的
施策を紹介している。
子育て支援のみならず、出
産に影響を与えると考えら
れる住宅施策、教育施策など
多方面にわたる事業等を奨
めている。

是年、新潟に少子化対策事
を立案する際の参考として
たがさす。

■ 地域特性等を記載
特徴的な施設では、紹介し

れないその他の版題や地域性などを記載している。

■ 市長・町長からの
寄稿

本事業のアドバイザーから
出生率に影響を与えるのは
値で測れるものだけでは
なく、市長・町長の意欲も影
射しているとの助言に基づき
取り組むことができた。

■総合力と要因（結婚、夫婦の出生力、第1子、第2子、第3子以上）の関連を解説
出生率への影響が大きい要因を取り上げ、総合力との関連について解説を記載した。

■【全市町共通】総合力と要因との関連を記述

相合力の①④の力と要因との関連を示している。例えば、①地盤のゆるく力は、結構要因、夫婦の出生要因、第1子要因に+の効果をもたらしている力である。なお、それぞれの関連は、全市町共通のものとして算出・表示しているため、個々の市町ではその値が当てはまらない場合がある。

IX 最後に

ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤を活用し、次のステップに「**一歩前へ**」

県と市町が協力し、少子化突破に向けて加速化



次のステップへ

- 「ふじのくに少子化突破戦略の羅針盤」を活用して、積極的に独自の取組を加速する。
- 県は、市町が施策を検討・実施する上で必要なデータ等をわかりやすく提供する。
- 県は、少子化対策に資する広域的な課題に積極的に対応していく。
- 県は大学生等に研究材料としての積極的な活用を促す。